

平成 21 年 6 月 24 日
国土交通省湯沢河川国道事務所

国道 13 号古館自歩道整備 1 年後の 状況について意見交換を実施

湯沢河川国道事務所では、国道 13 号湯沢市古館地内の歩道バリアフリー化・横断歩道橋統合による歩行者等の行動の変化及び更なる改善の必要性等について意見交換を行うため、下記のとおり懇談会を開催します。

国道 13 号湯沢市古館地内は湯沢東小学校の通学路となっておりますが、歩道内に前囲歩道橋の柱及び階段があり、歩道が狭くなっているため、歩行者と自転車のすれ違い時の接触や信号待ち時の歩行者と自動車の接触の危険性等、安全上の問題が指摘されておりました。

これらの問題を改善するため平成 15 年度に古館自歩道整備事業に着手し、平成 16 年に関係者による「前囲横断歩道橋を考える懇談会」を開催し対策内容について意見交換を行い、平成 20 年 3 月に事業を完成いたしました。

今回、事業完了後約 1 年が経過したことを受け、「前囲横断歩道橋を考える懇談会」の各委員に集まっていたいただき、改良前の問題の改善状況や更なる追加対策の必要性等について、意見交換を行います。

今後、出された意見等を参考に、整備による効果の取りまとめ、追加対策の必要性検討等をしてまいります。

記

1. 日 時 平成 21 年 6 月 30 日（火） 14 時～ 15 時 30 分
2. 場 所 湯沢市生涯学習センター

記者発表先：横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局

問い合わせ先

国土交通省 湯沢河川国道事務所 湯沢市関口字上寺沢 64-2
道路管理課長 酒井 宏 (Tel 0183-73-5350)

これからも湯沢河川国道事務所は、地域の問題解決に向けて、より良い方策を地域のみなさんと一緒になって考えてまいります。